

(配布先)
支店長・副支店長
施工担当部署長、建設所長
副部長・副所長・統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店取引業者災害防止協議会

事務連絡（安-2025-48）
令和7年11月25日

関西支店 安全環境部長

作業所におけるクマ対策の徹底について（要請）

昨今報道されているとおり、全国的にクマの被害が増加しています。

山間部や森林に隣接する作業所は、クマの生息域と重なることが多く、特に餌を求めて人里に近づくクマが増えていることから、作業中にクマと遭遇するリスクが高まっています。

つきましては、作業所関係者の安全確保とクマ被害の未然防止を目的とし、下記事項及び国交省東北地方整備局の「工事現場等におけるクマ対策の事例集」（別添）を参考に、安全意識の向上を図るとともに、定期的な注意喚起、最新のクマ出没情報の共有、状況に応じた適切な対策の実施を推進してください。

記

1. クマを寄せ付けない環境づくり

- ・弁当の食べ残し、生ごみ、空き缶、ペットボトルなどはクマを誘引する原因となるため、必ず密閉できる容器に入れ、速やかに適切に処理する等、食べ物・ゴミの管理を徹底する。

2. 作業中の注意点

- (1) クマよけグッズ（クマ鈴、クマ撃退スプレー、笛や電子ホイッスル、ラジオなど）を携行する。
- (2) 単独行動を回避し、複数人で行動するようにし、人の気配のない所で車から降りる際は、クラクションを鳴らしてから降りる。
- (3) 常に周囲に気を配り、熊の気配（足跡、糞、樹皮剥ぎなどの痕跡）がないか確認しながら作業を行う。

3. 新技術の活用

- (1) クマよけアプリ等の活用
 - ・位置情報サービスを利用し、熊の出没ポイントに近づいた際に警告音を発する無料アプリ『BowBear(ボウベア)』等を活用する。
- (2) ドローンによる監視
 - ・赤外線センサーカメラを搭載したドローンを活用することにより、クマの出現場所を事前に把握する。

4. クマに遭遇した場合の対応

- (1) 万が一、クマに遭遇しても大声を出したり走って逃げたりせず、落ち着いて行動し、クマを刺激しないよう、ゆっくりと後退し、その場を離れる。
- (2) 建物や車の中に避難する。避難が間に合わない場合は、攻撃を受けづらくするために、自分とクマの間に遮蔽物（電柱や塀など）を挟む。
- (3) クマに襲われそうになった場合は、顔や首を守る防御姿勢をとる。

5. 緊急連絡体制の整備

クマを目撃、または痕跡を発見した際の緊急連絡先を事前に確認しておく。

【例】・作業所：[担当者の氏名]（電話番号：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇）

・警察署：110 番

・市町村役場（環境課・農林課など）：

[担当部署名]（電話番号：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇）

6. 参考資料

- ・クマ撃退スプレー <https://www.monotaro.com/g/02584673/>
- ・クマ用電子鈴 <https://www.monotaro.com/g/04476512/>
- ・mont-bell製品の紹介 <https://www.montbell.jp/generalpage/disp.php?id=790>
- ・クマが嫌いな大型犬の唸り声・吠え声 [熊よけわんわん](#)
- ・オオカミの尿を使用した忌避剤 [ウルフピー](#)
- ・害獣忌避剤（出入口設置用） [熊をぼる](#)
- ・対処方法の解説動画 [\(群馬県\)ある日、森の中じゃないのに、クマに出会ったら](#)

※この事務連絡は、事務連絡（安環安）25-31(令和7年11月21日)安全環境本部発行に基づき作成しました。

以 上

令和7年11月13日
東北地方整備局

東北地整管内で実施しているクマ対策事例集を共有！

～各現場におけるクマ被害の未然の防止に向けて～

東北地方整備局では、クマの出没が頻発している状況をうけて、工事現場等で実施するクマ対策の参考とするべく、東北地方整備局管内の「工事現場等におけるクマ対策の事例集」を作成しました。

管内の工事現場等では、熊鈴や熊スプレー等のクマ対策は既に取り組んでいる状況で、更なるクマ対策への取り組みとして、大音量スピーカー等の現場存置、狼の尿や唐辛子等の匂いによる忌避剤の使用、監視カメラの設置による警戒など、各現場で様々な工夫をしております。

このたび、東北地方整備局の工事現場のみならず、東北6県の地方公共団体及び建設業関係団体等が実施するクマ対策の参考としていただくため、本事例集を公表することとしました。

1. クマ対策の事例集について

東北地方整備局管内で実施しているクマ対策について、東北6県の地方公共団体及び建設業関係団体に参考としていただくため、東北地方整備局管内の工事現場等で行っているクマ対策の事例を紹介したものです。

2. その他

クマ対策の事例集は、以下に掲載します。

<https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00910/jikogaiyou/subindex.html>

※本事例集は追加対策等があれば、随時更新します。

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会>

【問い合わせ先】

東北地方整備局 企画部 技術管理課長 高田 浩穂（内線3311）

企画部 技術管理課長補佐 荒谷 義成（内線3314）

住所：仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟

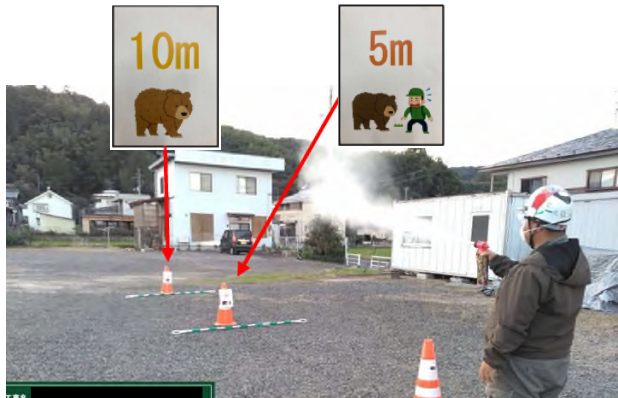
電話：022-225-2171（代表）

工事現場等におけるクマ対策の事例集



【概要】東北地方整備局管内の工事現場等におけるクマ対策

- 基本的なクマ対策としては熊出没情報の収集、熊よけグッズの携行（熊鈴・熊撃退スプレー・笛やホイッスル等）、複数人行動の徹底、食料品の放置はしない等が挙げられ、東北地方整備局管内の工事現場等では既に取り組んでいる状況です。
- また、東北地整管内の更なるクマ対策への取り組みとして、大音量スピーカー等の現場存置、狼の尿や唐辛子等の匂いによる忌避剤の使用、監視カメラの設置による警戒など、各現場で様々な工夫をしております。
- 本事例集はそのような現場の工夫を集約したもので、東北地整の関係者や工事・業務等の受注者等、東北6県の地方公共団体、建設業関係団体等に対して東北地整管内のクマ対策を共有し、クマ被害の未然防止に向けた取り組みの参考としていただくものです。



▲熊スプレーの噴射訓練



▲大音量スピーカーで熊を寄せ付けない対策



▲外部専門家による講習会の実施状況



▲管理施設内の監視カメラ設置（事例は、動物などの動きに反応して録画するタイプの監視カメラを設置）



▲忌避剤（狼の尿）の現場存置▶



▲忌避剤の現場存置

記者発表

令和7年10月27日
北上川下流河川事務所

河川を利用する際は、熊に注意してください
熊の目撃情報が相次いでいるため河川巡視を強化します

県内で熊の目撃情報等が多く寄せられているため、県では「熊出没警報」を11月30日まで継続しています。

北上川下流河川事務所管内でも、10月6日大和町落合松和地内、10月23日石巻市成田小泉地内の北上川の堤防上において目撃情報がありました。このため、河川巡視時に河川利用者に對して、注意喚起を行うこととしました。

注意喚起は、北上川下流河川事務所管内の北上川、旧北上川、江合川、鳴瀬川、吉田川及びその支川の直轄管理区間を1週間に2回巡視する際に巡視車両の赤色回転灯を点灯しながら、音声で河川利用者に對して熊に注意の呼びかけを行います。

■実施期間
令和7年10月28日（火）から熊出没警報が解除されるまでの期間

■取材について
○令和7年10月28日（火）～令和7年10月29日（水）の期間で取材対応可能です。
○鳴瀬出張所又は飯野川出張所に午前9時にお集まりください。
集合場所の住所、位置図は別紙をご確認ください。

管内の情報は次のURLからご覧いただけます。
○北上川下流河川事務所 Web サイト URL <https://www.thr.mlit.go.jp/karayu/>

（発表記者会）石巻記者クラブ、吉川記者クラブ
《 問い合わせ先 》
国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所
石巻市肥田字新下沼 80 電話 0225-95-0194（代表）
技術副所長 (内線 205)
管理課長 (内線 331)

▲管理施設利用者へ注意喚起（記者発表）

国土交通省北上川ダム統合管理事務所 @mit_kitakato · 43秒

■胆沢ダム周辺クマ出没情報■
#クマの目撃情報が増えています。十分注意してください。

▼岩手県のクマ被害防止取組事例・各種リーフレット情報▼
pref.iwate.jp/kuashikankyou/

#胆沢ダム #奥州湖

クマ 出没注意！

【日時】 令和7年7月31日(木)
14時頃

【場所】 尿前林道
(入口から30m付近)

クマの目撃情報がありましたので、
十分注意してください。

国土交通省北上川ダム統合管理事務所 @mit_kitakato

■胆沢ダム周辺クマ出没情報■
8/6（水）胆沢ダム堤体直下に #クマ の目撃情報がありました。
十分注意してください！

#胆沢ダム #奥州湖

午後3:12 · 2025年8月6日

↓ ポストのエンゲージメントを表示

▲SNSに目撃情報を発信

【事例集】東北地方整備局管内の工事現場等におけるクマ対策(1/7)

【安全教育の充実（クマに特化した教育）】

⇒自治体公表資料等を用いて、クマに特化した安全教育を実施。
⇒KYミーティングで危険予知を記載。
事例1（クマに特化した安全教育）



事例2（KYミーティングに反映）



【安全教育の充実（スプレー噴射訓練）】

⇒万が一の際にクマ撃退スプレーを確実に使用出来るようにするため、デモンストレーションを通じて使用方法や噴射距離を確認。

事例1（スプレー噴射距離の把握）



事例2（スプレー取り出しの訓練）



事例3（スプレー噴射の実演）



【熊スプレーの携行・常備】

⇒作業中は熊撃退スプレーを携行する。
⇒現場事務所や建設機械等に熊スプレーを常備する。

事例1（工事等関係者は作業中にスプレーを携行）



事例2（建設機械にスプレーを常備）



事例3（現場事務所スプレーを常備）



【注意喚起看板の設置】

⇒工事等関係者や施設利用者等に向けた看板設置により、注意喚起を促す。

事例1（デジタルサイネージの活用）



事例2（工事現場内の看板設置）



事例3（管理施設内の看板設置）



【事例集】東北地方整備局管内の工事現場等におけるクマ対策(2/7)

【熊鈴の携行・常備】

⇒工事等関係者は熊鈴を携行する。
⇒現場事務所等に熊鈴を常備する。

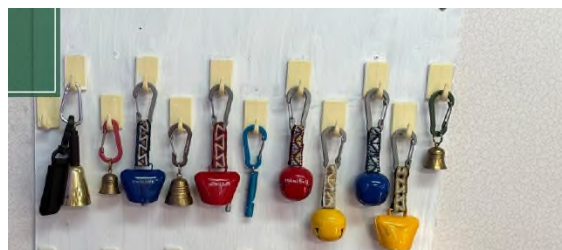
事例 1：作業中に携行



事例 2（作業中に携行）



事例 3（現場事務所に常備）



【ホイッスルやホーンの携行】

⇒工事等関係者は電子ホイッスルを携行する。
⇒熊が怖がる猟銃音、熊が嫌がる猟犬の鳴き声、爆竹の音などで熊を遠ざける
ホーンを携行する。

事例 1



事例 2



【ラジオの携行・設置】

⇒ラジオ作動により人の存在を知らせ、熊を遠ざける。

事例 1

（管理施設内で24時間常時作動）



事例 2（作業員のラジオ携行）



事例 3（工事中のラジオ稼働）



【鐘の設置・鳥獣害防除機器の活用】

⇒管理施設内に鐘を常設する事で施設利用者に配慮。
⇒センサーにて感知し音声や光により威嚇する鳥獣害防除機器を活用。

事例 1（管理施設内に鐘を常設）



事例 2（鳥獣防除機器を活用）

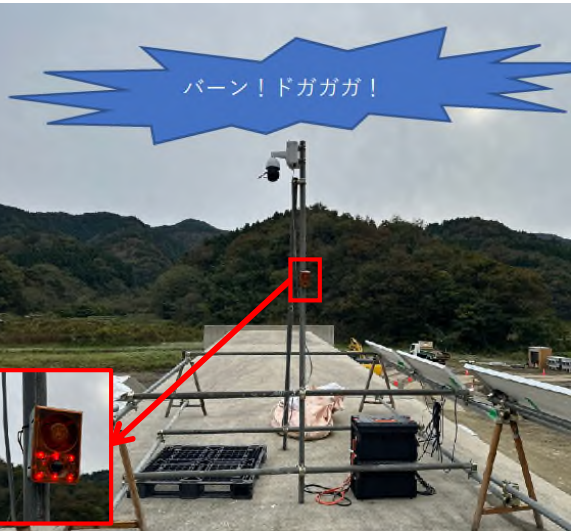


【事例集】東北地方整備局管内の工事現場等におけるクマ対策(3/7)

【大音量スピーカーや低周波音スピーカーの設置】

⇒24時間常時、夜間のみなど用途に応じて活用（事例1では最大130dBの音量）
⇒管理区間に低周波音スピーカーを設置し、熊を寄せ付けない。

事例1（大音量スピーカー）



事例2（低周波音スピーカー）



【サイレンの活用、火薬銃の携行】

⇒現場稼働前にサイレンを鳴らし人の存在を知らせ、熊を寄せ付けない。
⇒火薬銃を携行、常備する。

事例1（現場着手前のサイレン）



事例2（火薬銃の携行、常備）



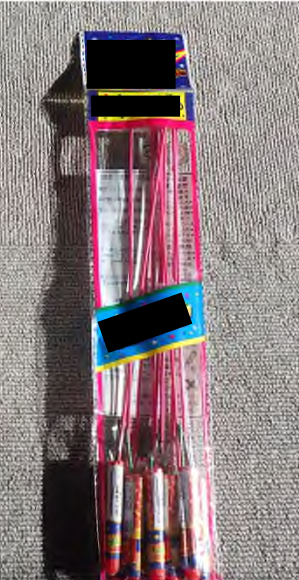
【ロケット花火の活用】

⇒ロケット花火を鳴らしてからの作業着手を徹底。

事例1

事例2

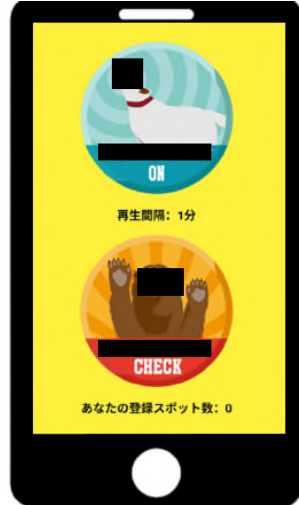
事例3



【熊よけアプリの活用】

⇒位置情報サービスを使用して、ユーザーがマップに登録されている熊出没ポイント付近にアクセスする場合、警報音で警告する。
⇒作業中に使用し、人の存在を知らせる。

事例1



事例2

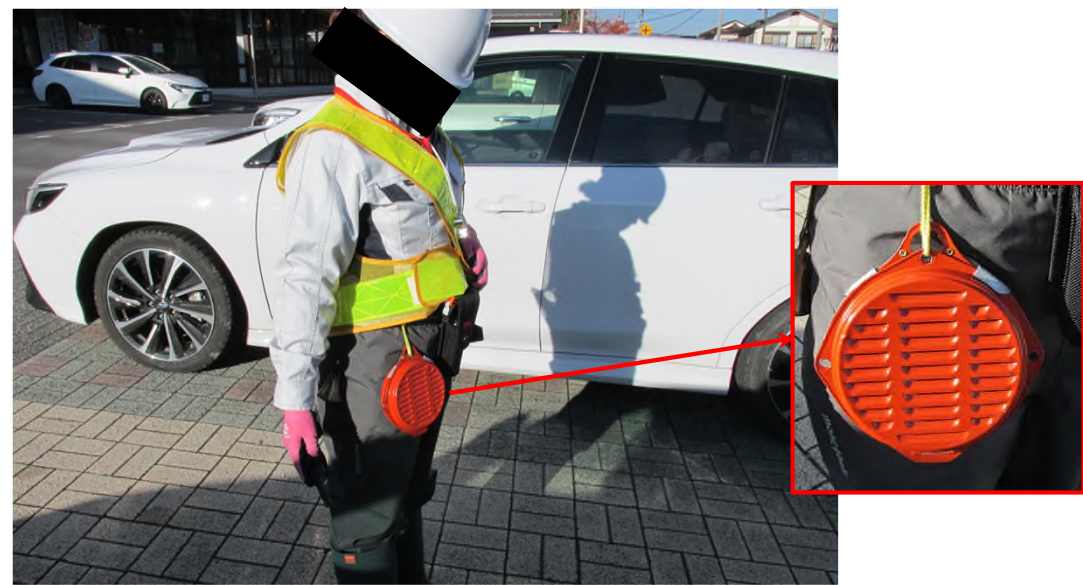


【事例集】東北地方整備局管内の工事現場等におけるクマ対策(4/7)

【獣よけ線香の携行】

⇒通常の線香原料に唐辛子粉末などを練り込んだ線香を携行。

事例 1



【現場内に獣よけシートを設置】

⇒熊が嫌がる匂いを放つシートを現場内に設置し、熊を寄せ付けない。

事例 1



【忌避剤（狼の尿）の現場内存置】

⇒クマの天敵である野生の狼のテリトリーにマーキングする習性を利用して、狼の尿を設置し、クマを寄せ付けない。

事例 1



事例 2



【忌避剤の現場内存置】

⇒忌避剤の携行や管理区間への忌避剤設置。

事例 1（工事現場に忌避剤を設置）



事例 2（管理区間に忌避剤を設置）



【事例集】東北地方整備局管内の工事現場等におけるクマ対策(5/7)

【赤外線カメラ】

⇒赤外線センサーカメラ搭載のドローンを活用した把握。

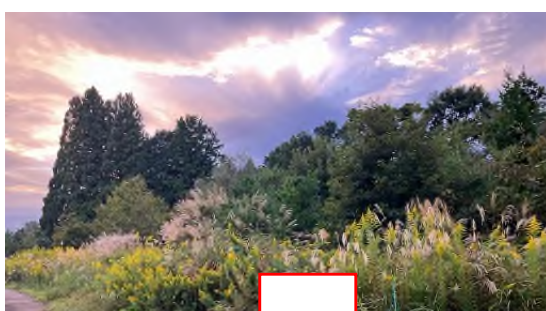
事例 1



【草や藪の刈り払いによる視認性向上】

⇒クマが潜む可能性のある草や藪などの刈り払いを実施し、視認性を向上。

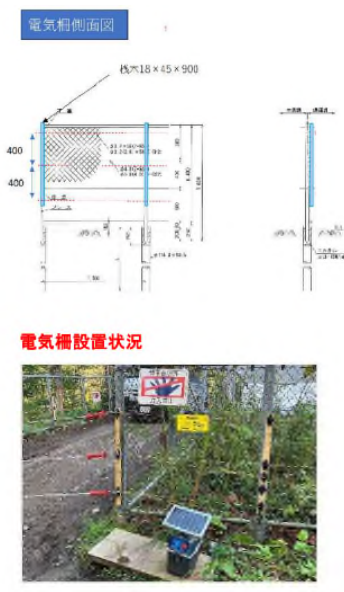
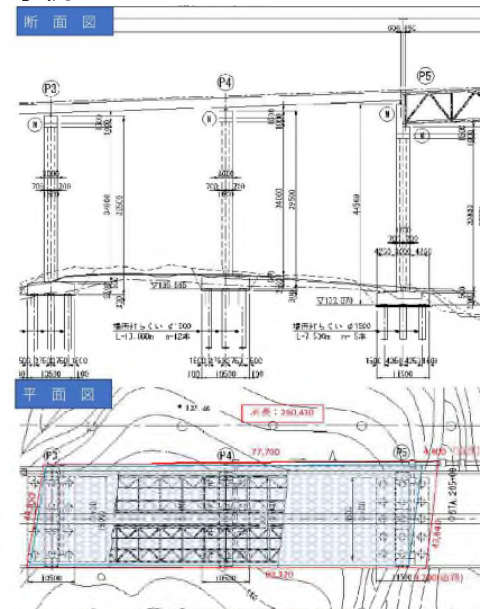
事例 1



【電気柵の設置】

⇒電気柵によりクマを物理的に寄せ付けない。

事例 1



【熊の餌となる柿や栗の実を除去】

⇒クマの餌となる柿の実の除去や管理施設内の栗の落実を除去・清掃する。

事例 1 (柿の実の除去)

事例 2 (栗の落実を除去・清掃)



【事例集】東北地方整備局管内の工事現場等におけるクマ対策(6/7)

【専門家による講話・講演等】

⇒専門家に講話を依頼し、事務所職員や工事等関係者が参加。事故防止対策委員会を活用して講話をいただいた事例もあり。
⇒講話・講演内容は、クマの特徴、行動パターン、繁殖、餌探しの行動特徴、クマと出くわした時の防御姿勢など。

事例1

事例2

事例3

【監視カメラの設置】

⇒動物などの動きに反応して録画するタイプの監視カメラを設置し、警戒にあたる。

事例1

【交通誘導警備員の安全対策】

⇒基本的に1人の作業となる誘導員の安全確保のため、規制箇所にリモコン式の信号と軽自動車を配備して車中から信号を操作できる環境を確保(熱中症対策にも)。

【クマ目撃箇所に箱罠設置】

⇒クマ目撃情報を自治体に連絡し、自治体から地元猟友会へ依頼。

事例1

事例2

